

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年9月8日(14:45~15:55)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	6人	3人	2人	14人

前回の改善計画
利用者が自宅でされている事で、地域と繋がっている事や苑での支援にも地域の人々と協力している内容がある事が理解、意識できる。

前回の改善計画に対する取組み結果
多機能という機能を使いながら生活できているという事への理解が十分とは言えない。
苑での生活で外出や地域行事、地域の方の来苑等、ケアの一環として組み込まれその中では地域との接点を心掛けている。資源への理解は職域により個人差がある事が分かる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	7	5	1	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	5	4	2	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	6	3	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	8	3	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・在宅生活、苑での生活を大きな変化なく心配なく過ごしてもらう。 ・自宅での生活は送迎時や他職員からの情報にてケアに生かしている。 ・回想する事により過去や自宅での生活を顧みる事が出来ている。
・苑での外出や地域行事活動への接点を生かしている。 ・多機能を利用して生活できている事。
・施設から地域への外出等地域住民、資源との接点を持つ事が出来ている。
・苑周辺住民との接点は意識的に心がけている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・職種により把握する内容が違い、現場職での情報には限界がある。
・地域資源の把握は困難。 ・事業所外での積極的な支援に限界。
・個人情報関係等で人間関係等を理解しているが、ケアに繋げることは不可。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
地域資源への理解を深め、利用者のこれまでの生活に配慮し利用者と家族、地域とのつながりを意識した支援を行う。